

令和6年4月2日

選手各位

広島県テニス協会
ジュニア委員長 加藤佳貴

中国ジュニア広島県予選におけるルール変更のお知らせ（追記事項あり）

早春の候 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より本協会ジュニア委員会に対しまして、種々のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先日、日本テニス協会常務理事会の決定事項として以下の報告がありました。「全日本ジュニアテニス選手権の2024年大会からの（地域、都府県大会は2025年大会からの採用を予定）ノーレットルール、ダブルス種目におけるノーアド方式の採用」という項目がありました。

これを受けて広島県テニス協会ジュニア委員会では協議した結果、2024年度の県大会から採用することに決まりました。

4月13日から始まる中国ジュニア広島県予選においてノーレットルール、ダブルス種目におけるノーアド方式を採用いたしますので、選手の皆さんはそのための準備をお願いいたします。

ノーレットルールについて

サーブされたボールがネット、ストラップまたはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。すなわち、ネット等に触れて正しいサービスエリアに入った場合、レットとせずそのままプレーを続行しなければならないということです。

ノーアド方式について

両方のチームが3ポイントずつ取ってデュースになったら、そこでディサイディング・ポイントプレーする。その時、レシーバーはどちらのサイドでレシーブするかを決める。レシーブするチームのレシーブする隊形を変えてはならない。ディサイディング・ポイントを取ったチームがそのゲームの勝者となる。

【注意】

ノーレットルールにおいてルールブック(P32～P33)には「ノーアド方式とノーレットを併用するショートセットでダブルスを行う時は、・・・レシーバーのどちらのプレーヤーでも返球できる。」とありますが、本大会はショートセットではないので、このルールの適用はしません。したがって、本来返球しなければならないプレーヤー以外の選手が返球した場合は失点となりますので注意してください。